

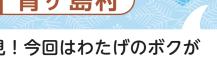
多摩・島しよ

history of tama & tosho

とっておき歴史意思

第28回 青ヶ島村

身近な場所で歴史を発見!今回はわたげのボクが 『還住の碑』と『ひんぎゃの蒸気』を紹介するよ。



遺 住 の 碑



1785(天明5)年頃、大規模な噴火による全島民避難で、青ヶ島は無人島になってしまったんだ。多くの苦難を乗り越え、約50年後、当時の名主であった佐々木次郎太夫によって、生き残ったすべての島民が島へ帰還することができたんだよ。その歴史を「還住」と呼び、この還住の碑は、島民を導いた名主の想いを表した像なんだ。

ひんぎゃの蒸気



島言葉で「ひんぎゃ」と呼ばれる地熱蒸気の噴気孔群が見られるよ。硫黄の成分がほとんどないめずらしい蒸気だから、昔から調理に使ったり、体を温めたり、身近な存在なんだ。外輪山の内側にある池之沢地区では、誰でも使える地熱調理窯やサウナ施設、製塩手法として活用されていて、電気やガスが普及した今でも大切に使われているよ。

【現地案内】

〈青ヶ島へのアクセス〉

青ヶ島へは、都心からの直行便がないため、八丈島経由となります。

《航路》

竹芝桟橋から八丈島まで、「大型客船」(東海汽船)で 約 10 時間 20 分

八丈島から青ヶ島まで、「くろしお丸」(伊豆諸島開発)で約3時間

《空路》

羽田空港から八丈島空港まで、飛行機 (ANA)で 約55分 八丈島から青ヶ島まで、ヘリコプター (東京愛らんどシャトル) で約20分





【情報・写真提供】青ヶ島村総務課 04996-9-0111 (代表)

本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。問合せフォーム▼

【発行日】2023年7月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実 〒 183-0052 東京都府中市新町 2-77-1 東京自治会館 4 F TEL 042-382-0068 ホームページ https://www.tama-100.or.jp (本紙のバックナンバーをご覧いただけます。)



